

ガラスにまつわるエッセイ

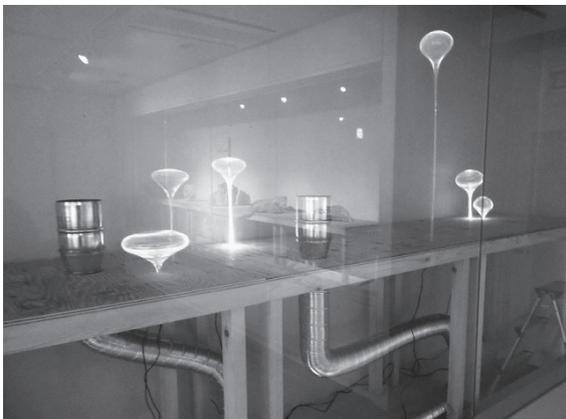
妖精の森ガラス美術館 三浦 和

新型コロナウイルス感染症が世界中に暗い影を落としています。東京オリンピックの延期決定や緊急事態宣言等、先が見えない社会状況ですが、一刻も早い終息を切に願います。

松藤さんの展覧会が始まって早くも1か月が経過しました。松藤さんの展示は普段の作品展示とは少し違い、空間全体を一つの作品としてとらえる展示方法「インスタレーション」を用いています。この展示方法を使うことで、繋がりのある複数の作品を通して展示室全体を一つの世界観のある作品に見立てることが出来ます。

今回、松藤さんは展覧会名のとおり、作品を通じて「二つの世界」を表現しています。

ひとつは自然物(石)を作品に見立てて表現した「自然を神格化する世界」、もう一方はウランガラスや人工物(電気コードやアルミダクト、LED)を使って表現した「欲のために創造した世界」です。この二つの展示の対比は自然への畏怖や、欲を糧に進んできた現代社会への危機感を示唆しています。見ているうちに今後の社会や、地球のことを深く考えさせられる展示だと私は感じました。



ウランガラスを使って表現した「欲のために創造した世界」



石を作品に見立てた「自然を神格化する世界」

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

今年度の日本赤十字社の会員募集を延期します

日本赤十字社は、国内外の災害時の救護をはじめ、病気で苦しむ方々のサポートや各種ボランティア活動、地域に密着した福祉活動など幅広い分野で活動を行っています。

毎年5月は日本赤十字運動月間となっており、例年地域の方々が皆様のもとを訪れ、こうした日本赤十字社の趣旨にご賛同いただき、会員としてご加入いただける方には年額500円以上の会費のご協力をお願いしております。

(令和元年度の赤十字運動月間では、2016名の方々に1,898,500円の会費をご協力いただきました。誠にありがとうございました。)

今年度の会員募集については、昨今の新型コロナウイルスの世界的な流行の影響により、会員の皆様・募集活動を行っていただく地域の方々の感染防止の観点から7月以降に延期とさせていただきます。

会員募集の際には改めて広報紙等でお知らせしますので、その際は皆さまの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先 日本赤十字社岡山県支部鏡野町分区(鏡野町保健福祉課内) 担当: 阪手
電話(0868)54-2986 FAX(0868)54-2891